



KMU 金沢医科大学氷見市民病院

| 広 | 報 | 誌 |

かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ● トピックス

夏休み親子ふれあい 医療フェスティバル

砺波のコスモス

CONTENTS ● もくじ

TOPICS 夏休み親子ふれあい 医療フェスティバル	P.01
中出先生の診察室から	P.03
診療コラム	P.04
病院★ニュース	P.05
病院からのお知らせ掲示板	P.06
デイケア通信	P.07

病
院
の
理
念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

金沢医科大学氷見市民病院のホームページ
<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~himi/>



金沢医科大学氷見市民病院



第11回

夏休み親子ふれあい医療フェスティバル



日時
令和7年8月3日(日)
9:00~12:00

会場
金沢医科大学
氷見市民病院

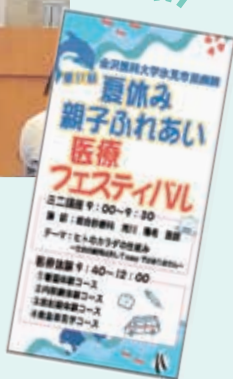
8月3日(日)に第11回夏休み親子ふれあい医療フェスティバルを開催しました。

今年は、氷見市や富山市等から小・中学生と保育園児47名、保護者36名の合計83名が参加し、医師による講演や、病院で実際に使用している医療機器を使ったさまざまな体験を行いました。

医療体験コーナーでは、看護体験や、氷見市消防本部署員による救急車乗車・消火器体験をはじめ、久しぶりに医療機器を使った内視鏡画像・治療の体験と、放射線画像の体験がコースに加わり、各スタッフは趣向を凝らして子どもたちを迎えました。



開会のあいさつ
(伊藤 透 病院長)



講演終了後には、場所を移動し4つの体験コースすべてを親子で回り、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱいそれぞれのブースを楽しむ様子が見られました。

はじめに、伊藤透病院長から開会の挨拶があり、続いて、総合診療科の滝川陽希医師の講演では『ヒトのカラダの仕組みと生命の維持は決してeasyではありません』と題し、からだの仕組みや臓器の働きについて説明され、「人間のからだと同じように、社会の中のものたちにも役割があり、将来みんながどんな役割を果たしていきたいか少しづつ考えていこう。」と語りかけられました。



滝川 陽希 医師の講演



参加者からは、「医療機器など、普段見ると、触ることがない体験がきてとてもよかった。」「子どもが楽しめる内容、かつ職員の方々が優しく充実した時間を過ごせた。」「先生の講演が子どもにわかりやすく説明され、とてもよかった。」などの感想が寄せられました。

最後に、神田享勉CEOから「夏休みの1日の楽しい思い出を持ち帰ってください。」との閉会の挨拶がありイベントを締めくくりました。たくさん子どもたちと触れあい、職員にとっても日常業務とは違う楽しい1日となりました。



閉会式のあいさつ
(神田 享勉 CEO)





実際にCT装置で撮った画像を見てみよう



超音波装置(エコー)を使ってゼリーの中をのぞいてみる



氷見市消防署本部隊員による指導のもと水消火器を使って消火体験



実際の救急車に乗りこみ車内を見学

体験 /
3
放射線画像体験
コース



心電図モニター体験



聴診、血圧、酸素飽和度を測定



消化器内科医師の指導のもと内視鏡スコープの挿入体験

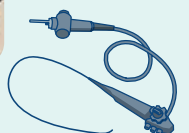


腹腔鏡を使って手術体験にチャレンジ

体験 /
1
看護体験
コース



体験 /
2
内視鏡体験
コース



なかで
中出先生の
診察室から

整形外科

中出 祐士朗
YUJIRO
NAKADE

本 年7月から金沢医科大学病院より当院整形外科に配属となりました中出祐士朗です。今回は、自己紹介もかねてお話をさせていただきます。

私は石川県出身でこれまで地元で過ごし、小中高では陸上競技に打ち込み、大学時代はハンドボール部に所属していました。学生時代は、ひざのけがに悩まされることも多く、そのたびに整形外科の先生にお世話になり、自分も将来スポーツに関わる仕事をしたいと考えるようになったのが整形外科医を志すきっかけでした。大学2年生の時には、前十字靭帯断裂と半月板損傷という大きなけがで手術を受け、競技に復帰するまで苦しい思いをした中で、医療の力やリハビリに支えられて乗り越えた経験が、整形外科への興味を一層深めることとなりました。自らが感じた不安や期待を、将来、同

じようにけがで悩む方々を支えられる存在になりたいと強く思うようになりました。



当院に配属となってからは、外傷症例を診て自らが執刀する機会が増え、日々、先輩の先生方から指導をもらい

ながら多くのことを学ばせていただいております。外傷治療は一例ごとにADLや背景疾患、骨質などが異なるため、迅速かつ的確な判断が求められる緊張感があります。その反面、治療後のリハビリ過程で、患者さんの疼痛の改善や機能の回復がみえた時には強くやりがいを感じます。

氷見での診療は数か月間ではありますが、改めて医療が患者さんやご家族の生活に直結していることを実感し、日々の診療では、わたし自身がけがを経験してきたからこそ、患者さんの痛みに寄り添い、安心して治療を受けていただけるよう心掛けています。整形外科医としての技術をさらに磨き、地域の皆様に貢献できる存在となれるよう努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしく願っています。

中出 祐士朗 ★ 略歴

【学歴・職歴】

令和4年 金沢医科大学医学部 卒業
令和6年 金沢医科大学病院整形外科 医員
令和7年 金沢医科大学氷見市民病院整形外科 助教

【資格】

● 日本医師会認定健康スポーツ医



診療コラム

歯科口腔外科の紹介



歯科口腔外科では、虫歯などの一般歯科診療の他、腫瘍・のう胞・外傷等の外科的疾患や口腔粘膜疾患・神経性疾患等の内科的疾患などの診断・治療を行っています。

当科が扱う代表的な疾患には次のようなものがあります。



埋伏歯

粘膜の下や顎骨内に埋まっている歯を埋伏歯といい、その多くがいわゆる親知らずです。

静脈内鎮静下（お薬で眠った状態で）で抜歯をすることもあります。



腫瘍

線維腫・歯牙腫などの良性腫瘍と舌癌・歯肉癌などの悪性腫瘍があります。

機能障害・審美障害などを考慮した治療が必要となります。

のう胞

歯根のう胞・粘液のう胞などの内部に液体や固形物を含む袋状の良性疾患です。

基本的に摘出などの外科的治療を行います。

外傷

顔面皮膚・口腔内粘膜などの軟組織損傷と歯・顎骨などの硬組織損傷があります。

外見の修復だけではなく、機能回復を重視した治療が必要となります。

当科では紹介・逆紹介を通じて開業医の先生方と病診連携に努めており、今後も連携を通して地域医療に貢献していけたらと思っています。



研修医



Resident

紹介



令和7年度1年次研修医

加田 真大

研修医生活が始まり、あつという間に半年が過ぎました。

毎日が充実しており、スタッフの皆さんに支えられ、日々成長を感じることが出来る環境に大満足しています。他の病院で研修している友人には「氷見にきてよかった」と自慢しています。

今後もより一層精進してまいりますので期待して注目してください！



氷見高校生の1日看護見学

8月7日(木)に、「氷見高校生の1日看護見学」を実施し、15名の氷見高校生が参加しました。

この事業は、看護師志望の高校生が将来地元で看護師として活躍できるよう氷見高校の生徒を対象に当院で看護体験を実施しているものです。

4年前の様子は氷見市情報番組「サンデーひみ」で放送され、看護師を志す高校生の姿が映し出され、今年度、そのうちの5名が看護師の夢をかなえ、当院に入職しました。

参加者は白衣に着替え、「看護師になるには？」「看護師の仕事」について講義を受けました。その後、病棟へ行き、心電図や血圧測定、点滴のセットなどを説明を受けながら、看護の仕事を見学・体験しました。

座談会では、「看護師になつてやりがいはいは？」「夜勤の仕事の内容は？」など積極的に質問があり、熱心に話を聞く姿がみられました。参加アンケートには「看護師

になりたいたい気持ちが強まった」「相手を思いやることの大切さを感じた」「進路選択を決める大きな一歩となった」と看護の道に興味を示す感想が聞かれました。



看護師体験の様子

写真：「サンデーひみ」より

これからも、氷見高校出身の学生が私たちの仲間となり、氷見市の医療・介護に貢献し活躍されることを期待しています。

今年度の看護体験の様子も氷見市情報番組「サンデーひみ9月号」として放送されました。



氷見市ホームページ
「サンデーひみ」
ぜひご覧ください。



看護師体験の様子
写真：「サンデーひみ」より

看護師さんの
仕事内容を見学できて
学びのある1日でした！



第17回 金沢医科大学氷見市民病院 地域医療懇談会

日時 令和7年9月27日(土) 18時

令和7年9月27日(土)午後6時から、ホテルニューオータニ高岡にて第17回金沢医科大学氷見市民病院地域医療懇談会を開催しました。

氷見市や高岡市の開業医の先生方30名と、学校法人金沢医科大学から高島茂樹理事、当院から神田享勉最高経営責任者、伊藤透病院長をはじめ、36名が出席しました。

第一部の懇談会では、笠巻医師を座長に「診療紹介」が行われました。診療紹介1は、消化器内科浦島医師から「当科における内視鏡治療の現状」と題し、早期胃癌に対するESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)適応症例について講演され、診療科紹介2は、耳鼻咽喉科坪田医師から「高齢者の難聴について」と題し、難聴の早期発見の大切さについて詳しく紹介されました。

第二部の懇親会では、和やかに歓談がなされ参加者同士の親睦を深める有意義な時間となりました。



お知らせ掲示板

第15回 広げようブルーサークル in ひみ
健康講座 開催のお知らせ

11月14日の世界糖尿病デーに合わせて今年も開催します。
医療スタッフによる講演やレクレーションを通じて、生活習慣を見直し、予防の大切さと発病について学びませんか。
血压・血糖測定やフレイル予防、
栄養評価コーナーをご用意しています。

皆様の参加を
お待ちしております！



日時	11月29日(土)午後1時30分～ (受付:午後12時30分～)
場所	氷見市芸術文化館 2階ホール
申込方法	医事課(内線1022)にお電話、 申込用紙にて

プログラム

- ◎開会あいさつ … 金沢医科大学氷見市民病院
最高経営責任者:神田 享勉 先生
- ◎一般演題
一般演題座長:金沢医科大学氷見市民病院 教授 伊藤 智彦 先生
- 「氷見市の糖尿病予防の取り組み」
講師:氷見市健康課 中島 由華
- 「これも運動?知らずにできる糖尿病ケアの新常識」
講師:理学療法士 中嶋・前田
- ◎特別演題
特別講演座長:福田内科医院 院長
富山大学医学部第一内科 臨床教授 福田 一仁 先生
- 「糖尿病治療の課題と対策
～これからの糖尿病支援に必要なこと～」
藤田医科大学医学部 内分泌・代謝・糖尿病内科学 准教授 清野 祐介 先生
- ◎閉会あいさつ … 氷見市医師会 会長:松井 みづほ 先生
共催:公益社団法人 氷見市医師会、氷見市、氷見市薬剤師会、金沢医科大学氷見市民病院
後援:富山県医師会、日本糖尿病協会富山県支部

令和7年度
第2回 市民公開講座のご案内

市民の皆さんの健康増進に役立てていただくことを目的に、当
院の医療スタッフが、病気や医療についてわかりやすくお話しま
す。ぜひご参加ください。

日時	令和8年1月24日(土) 13:30～15:30
会場	氷見市芸術文化館
受講料	無料
申込方法	メール・郵送 詳しくは、当院ホームページ、 新聞折り込みチラシをご覧ください。
問合せ	金沢医科大学氷見市民病院 総務課 ☎74-1900

インフルエンザワクチン接種の
ご案内

■実施期間
令和7年10月1日～令和8年1月31日
月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・祝日は行いません)

■対象者(氷見市に住民登録のある方)

- ・小児(未就学児～小学6年生まで) …… 助成対象 **要予約**
- ・中学生 …… 助成対象 **要予約**
- ・高校生、65歳以上 …… 助成対象
- ・18歳～65歳未満 …… 助成対象外

■料金(助成対象者は助成後の金額)

- ・高校生、65歳以上 …… 1,500円
- ・18歳～65歳未満 …… 4,500円

インフルエンザHAワクチン

- ・小児 …… **[1回目] 1,500円 要予約**
(未就学児～小学6年生まで) **[2回目] 500円 要予約**
- ・中学生は1回のみの接種 …… 1,500円 **要予約**

経鼻弱毒インフルエンザワクチン

- ・2歳～18歳 …… 2,800円 **要予約**

■受付

- ・高校生、一般は予約不要です。(午前のみ実施)
接種をご希望の方は、専用受付(総合受付前)までお越しください。
・専用受付に整理券番号札がありますので、整理券番号札を取って
お待ちください。
【受付時間:午前8時30分～11時】(受付終了15分前にはお越しください)
※65歳以上の方は、氷見市からインフルエンザワクチン接種の予診
票が郵送されます。**必ず予診票をご持参のうえお越しください。**
予診票をお持ちでない方は予防接種ができません。
※受診当日に接種を希望される方も、診療の前に必ず専用受付で
受付をお願いいたします。
※高校生で経鼻弱毒インフルエンザワクチンをご希望の方は予約が
必要です。(J受付:内線2100)
- ・小児、中学生は予約制です。
お電話にてご予約いただき、ご来院ください。(J受付:内線2100)
【受付時間:14時～16時】(受付は2階J受付で行います)
※受給者証(ピンクカード)を必ずお持ちください。
※氷見市からインフルエンザ接種の接種券が届きます。
必ずご持参ください。

■問い合わせ

金沢医科大学氷見市民病院 医事課(内線1022)

※当院では新型コロナウイルスワクチン接種を実施いたします。
予約は不要です。詳しくは、医事課までお問い合わせください。

年末年始 休診のお知らせ

12月29日(月)～1月4日(日)の間は、外来診療を
休診します。なお、緊急の場合や救急患者さんについ
ては、救急外来にて常時対応しています。

～患者さんへのお願い～

- ◎受診の際は必ず健康保険証をご持参ください。
- ◎夜間や休日は救急患者さんの診療を
優先的に行っています。

緊急を要しない場合は、できるだけ通常の診療時間内に受診いただくようお願いします。

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかで自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にいただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

デイケア通信

レクリエーション「金魚すくいゲーム」

通所リハビリでは、利用者の皆さんに安心して楽しく過ごしていただけるよう、毎日さまざまな活動を行っています。

午前中は入浴や個別リハビリで身体を整え、午後からは体操や歌で身体を動かして、頭や手先・足を使うクイズやゲームなどのレクリエーションで笑顔が広がります。

今回は、夏の名残を感じられる「金魚すくいゲーム」をご紹介します。

利用者さんと一緒に新聞紙を丸めてお花紙で包み可愛い目を付けると、赤や黄色、青などカラフルな金魚がたくさん完成しました。

手作りのボイを使い、制限時間内に何匹すくえるかゲームにチャレンジし、和気あいあいとした雰囲気の中、夢中になつて挑む姿や、一所懸命に金魚をすくおうとする表情も見られ、



笑い声とともに通所全体が熱気に包まれました。

今後季節を感じる活動を取り入れ、楽しみながら自然とリハビリにつながる時間を大切にしていきたいと思います。

表紙について

花のまちと呼ばれる砺波が魅せる秋の表情です。青空と温かな日差しのもとで、可憐に揺れるコスモスに癒されます。秋に訪れたい場所がまた1つ増えました。



編集後記

当院は持続可能な地域医療を提供出来るよう中期事業計画を策定しており、役割・機能の適正化と連携の強化を進めています。氷見市内を中心とした医療機関や介護施設の皆さまと連携を深め、地域の皆さまに病院の情報をお届けする方法の一つとして、この広報誌「かけはし」があります。広報誌を通じて様々な取り組み発信することで、当院の役割を理解いただき、患者さんの紹介等、当院を選んでいただくきっかけに繋がっていきたくと考えています。

かけはし2025秋号 Vol.65 編集委員 事務長 宮井 公一

■広報誌「かけはし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ“かけはし”となることを願って命名されました。